

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月22日

1 事務事業 の 現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	338	区画整理指導・支援事務							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	市街地整備								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		昭和44(1969)年頃			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		土地区画整理法、みよし市土地区画整理補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	土地区画整理組合及び準備委員会に対し、指導・支援を行う。 「SDGsの取り組み：11」					土地区画整理事業により、計画的に公共施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図るとともに、円滑な交通体系を確立し利便性の高い市街地を形成するために本事業は必要である。						
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			三好中部特定土地区画整理組合の会議への出席・助言、組合からの提出物の作成補助・審査を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化していない				名称		単位					
					①	組合事業役員会等の開催数	回					
					②	みよし市土地区画整理事業補助件数	件					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①土地区画整理事業施行地区 ②土地区画整理事業計画（準備）地区					名称		単位					
					①	施行中の地区数	地区					
					②	準備地区数	地区					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①土地区画整理事業の促進する ②準備委員会の負担を軽減し組合設立する					名称		単位					
					①	宅地供給率（施行中地区）	%					
					②	補助額/準備委員会年度事業費	%					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
安全で災害に強い基盤整備を行う					名称		単位					
					①	土地区画整理事業の整備面積割合	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	29	29	13	2	6	12	12			
		② 件	0	0	0	1	1	1	1			
(2)の 対象指標		① 地区	1	1	1	0	1	1	1			
		② 地区	1	1	1	1	0	0	0			
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	0	0	0	0			
		② %	0	0	0	100	100	100	100			
(4)の結果の 成果指標		① %	45.3	45.3	45.3	45.3	45.3	45.3	45.3			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	04
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	25	34	27	26	26	26	26			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	25	34	27	26	26	26	26			
人件費B		千円	6,244.5	6,244.5	6,244.5	6,244.5	6,244.5	6,244.5	6,244.5			
正職員従事時間×人数		時間×人	575×3	575×3	575×3	575×3	575×3	575×3	575×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	52	52	75	75	75	75	75			
トータルコストA+B+C		千円	6,321.5	6,330.5	6,346.5	6,345.5	6,345.5	6,345.5	6,345.5			
単位あたりコスト		① 千円/地区	6,321.5	6,330.5	6,346.5	0	6,345.5	6,345.5	6,345.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/地区	6,321.5	6,330.5	6,346.5	6,345.5	0	0	0			

事務事業名	No.	338	区画整理指導・支援事務
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	土地区画整理事業により住宅地の供給が行われている
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業の目的を鑑みると、環境変化に伴って対象は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	事業内容を鑑みると、環境変化に伴って目的は左右されないため、見直しは必要ないものとする。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	成果は達成されているため、維持する	
	目的達成状況	内容	土地区画整理事業により、住宅地の供給が行われている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 みよし市土地区画整理事業補助金	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	施行中の土地区画整理事業の進歩	対応策	組合及び関係機関との調整を図る
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	組合の会議出席及び助言、提出物の作成補助、審査	変更・追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 三好中部特定土地区画整理事業は、平成27(2015)年4月に仮換地指定が行われ、平成27(2015)年度より工事等本格的に事業推進されており、令和5年3月に解散認可となった。土地区画整理事業が未実施の地区についても、事業推進に向けて市としても指導・支援を行っていく。	
コストの方向性	→ 維持				
成果の方向性	→ 維持				

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月19日

1 事務事業 の 現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	313	地区計画区域内施設整備事業						
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち							
			施策	便利で快適な住環境をつくろう							
			基本事業	市街地整備							
	主管課名		道路河川課		課長名	舟橋 伸幸					
	この事務事業の開始時期		平成26(2014)年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市生活環境整備事業分担金の徴収に関する条例								
	事業の概要		現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由								
	三好中島地区計画 地区施設整備事業 対象地区施設：調整池 「SDGsの取り組み：9, 11, 12, 13」		地区計画の区域内で宅地化が進んでおり、雨水の水害に強いまちを築くため調整池を整備する必要がある。								
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①調整池築造工事 ②分担金徴収事務 ③委託業務監督 ④完了検査 ⑤支払い業務								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか		(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）									
変 化 内 容	変化していない				名称		単位				
			①		調整池築造数	箇所					
			②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)		(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）									
調整池				名称		単位					
		①		計画調整池箇所数	箇所						
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)		(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）									
境川流域の浸水被害防止を図るため調整池を築造し、水害に強いまちづくりを目指し、流域の治水安全度の向上を図る。				名称		単位					
		①		調整池完成箇所数	箇所						
		②									
結果(上位基本事業の意図)		(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）									
調整池の雨水貯留能力を確保する。				名称		単位					
		①		調整池貯留容量	m ³						
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
(1)の 活動指標		① 箇所	3	3	3	3	3	3	3		
		②									
(2)の 対象指標		① 箇所	3	3	3	3	3	3	3		
		②									
(3)の 成果指標		① 箇所	0	1	1	0	0	1	0		
		②									
(4)の結果の 成果指標		① m ³	0	4,535	4,956	0	0	3,217	0		
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	08	項	04	目	07
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	248,725	569,805	465,286	157,570	384,500	793,310	0		
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0		
	その他		千円	21,529	56,980	49,872	15,757	38,450	79,331	0	
	一般財源		千円	227,196	512,825	415,414	141,813	346,050	713,979	0	
人件費B		千円	1,444.4	1,444.4	1,444.4	3,258	3,258	3,258	3,258		
正職員従事時間×人数		時間×人	133×3	133×3	133×3	180×5	180×5	180×5	180×5		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C		千円	623	623	202	202	202	202	202		
トータルコストA+B+C		千円	250,792.4	571,872.4	466,932.4	161,030	387,960	796,770	3,460		
単位あたりコスト		① 千円/箇所	83,597.5	190,624.1	155,644.1	53,676.7	129,320	265,590	1,153.3		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	313	地区計画区域内施設整備事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	調整池の築造は境川流域の浸水被害防止に寄与しており成果が得られている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	浸水被害防止における環境変化はなく見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	三好中島地区計画において調整池を3箇所築造することとなっており、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	地元の負担金に限りがあるため、成果の向上は難しい。	
	目的達成状況	内容	令和4(2022)年度末調整池計画数に対する整備率 66.7%	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 河川整備は管理者である市の責務である。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	河川整備は他の事務事業と統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	計画している調整池は貯留量等が定められており仕様等の変更はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	地元行政区負担 10%

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	浸水被害防止を図るため、早期に調整池の整備が必要。	対応策	行政区と調整を図りながら、計画的に整備を進める。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	地区計画区域内施設の整備（2号調整池の整備）	変更追加	3号調整池の整備に向け、用地の買戻し、設計委託を行う。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容調整池築造工事に着手し、早期に浸水被害の防止を図る。			
コストの方向性		↑ 増加			
成果の方向性		↑ 増加			